

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 4 月 19 日  
2 階 3 階 共通

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2774600635		
法人名	株式会社 日本ケアコンサルティング		
事業所名	グループホーム 柏原		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	柏原市円明町 1 1 番 1 7 号		
自己評価作成日	平成 22 年 4 月 9 日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

### 【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	別紙情報提供票のとおり

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	〒546-0035 大阪市東住吉区山坂五丁目 5 番 1 4 - 1 0 3 号
訪問調査日	平成 22 年 4 月 15 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様の意思・ペースを大切にし、ご自分でできる事はして頂けるよう介護サービスを提供出来るよう取り組んでいます。また、利用者様に対して「堅苦しくない丁寧な声掛け」をスタッフ間で大切に取り組んでいます。

2階では利用者様方に季節を感じて頂けるよう生花や掲示物を利用者様と一緒に飾ったりし、その季節ならではの行事を開催しています。利用者様の自立度が高く、自身で出来る方については、個性を尊重した介護を行なうようにしています。

3階ではおやつについては利用者様とご一緒に作り楽しんで頂けるよう努めており、また、季節感のある行事などを行なうことで、利用者様に楽しんで頂いています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは9月で6年目を迎え、職員も27名中5名が介護歴5年以上のベテランで、利用者は安定した日々を送っている。

所在地は、柏原市の中心部から、やや南部、石川の堤防より約200メートル離れた場所で、近くに玉手山公園がある自然に囲まれた環境にあり、建物は4階建てのビルを改装したもので、利用者は毎日の生活を楽しみにしている。

管理者は、利用者との対話と見守りを重視し、寄り添う介護を行い、自然に知り得た人となりの情報を活用している。更に、職員同士の話し合いも同じように大切に、職場の環境づくりに努めている。しかし、まだ不十分だとして気を引き締め、更なる改善に向けた模索を続けている。

ホームの誇りとして特筆している実績は、ご夫婦の利用者が、約2年程の介護の結果、当初からの症状が改善され、無事自宅に戻られたことで、現在も自宅で生活を送っている由である。

最近、札幌市でのグループホームの火災事故が大きく報道されたが、当ホームの冷暖房はエアコン、炊事はすべてIH式で火気を使っていないことと、湯沸かしは、LPガスを使用しており、給湯器は屋外にある。更に、建物内には火災報知機を完備しており、室内のスプリンクラーは今秋に着工予定である

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I 理念に基づく運営</b>						
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「穏やかに普通の生活を送ること」、「心身の痛みを緩和する事」、「自分で出来ることへの喜び自信を持つこと」を3大理念とし、取り組んでいる	定例的に職員会議を開催し、運営方針、各種の指導事項等は、職員との話し合いを重視しながら実施している		
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	老人会会長とも懇意にし、施設周辺の草引き等行って頂いている。また、運営推進会議を通じ、様々な意見をいただいている	老人会長さんには開設以来、運営推進会議を始め、他のことも含めて何かとご指導と情報提供を頂き、介護に役立たせて頂いている		
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩等外出時には、ホーム職員からの挨拶を心がけている			
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、そこで得た意見を再検討し、サービス向上に活かしている	地域の方々との公式な情報交流が余りないので、運営推進会議での話し合いを介護向上のために役立たせている		
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	研修等あれば、積極的に参加するようにしている。また、市の窓口担当者に定期的に出向き、意見交換等行っている	市役所の各担当の方々とは、何かと話し合いをさせて頂いている		
	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	研修会などに参加し、学んでいる。施設内では、管理者よりフロアリーダーによる徹底を指示している。また、定期的にフロアでも検討している	外部での研修会後には必ず職員会議で出席者より報告研修を受けている。利用者の高齢化に伴い身体能力が低下してきているため、職員は研修に取り組み、向上を目指し、話し合いを行なっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会などに参加し、学んでいる。施設内では、管理者よりフロアリーダーによる徹底を指示している。また、定期的にフロアでも検討している		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会などに参加し、権利擁護・成年後見制度について学んでいる		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な時間をとり実施している		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者とのコミュニケーションを図り、問題があれば適宜カンファレンスを行い、問題解決に取り組んでいる	ホーム便りでもお知らせしているが、来訪時には職員が詳しく、お話しを伺っている	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、すれらを反映させている	定期ミーティング時、各個人の意見や提案を発言する機会を設けている	管理者は日頃から、職員との対話に心がけて、話し合っている	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	努力や実績が認められた場合は、給与に反映されるようになっている。また、資格手当で、毎月の査定項目がある		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回、常勤者会議を開催し、スキルアップに努めている。また、定期的にフロア会議の際に勉強会を行い、技術・知識の向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	大きな研修、訓練（消防訓練）等にお互いどのようにしているか等話し合う場を作り、不定期ではあるが行っている		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	面接に積極的に出向き、できるだけ合う機会を多く持つように心がけている		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	面接に積極的に出向き、できるだけ合う機会を多く持つように心がけている		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	状況を十分に検討し、入居以外の方法を助言している		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	ご自身で行える事は行っていただき、できないことについても励ましながらゆっくりと本人主導の介護を行っている		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	ご家族の方には、面会に積極的に来て頂くように声を掛けている。また、行事が開催される際は、本人様と過ごして頂けるよう取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	オープンなホーム（面会はいつでも可能等）を目指し、今までの交流が途切れないようにバックアップしている	ご家族、知り合いの方々の訪問をいただいている	
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝の体操や個々にあったレクリエーションを考え利用者同士の交流ができてくるよう常に考えている		
22		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後の利用者や家族に対しても年賀状を送付したり、電話での近況を確認し、自宅訪問等を行い、関係を断ち切らない付き合いを行っている		
23	9	○ 思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを大切に、可能な限り希望に添える生活を送れるよう努めている	職員は利用者に寄り添い、気持ちを込めて、交流が図れるよう心がけている	
24		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様やご家族の方に話を聞き取りながら（利用者様が発した言葉なども）全職員でこれまでの生活等を共有し、本人らしい生活を送れるよう支援している		
25		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている	定期的カンファレンスを行い、個人のケア記録をもとに個々の一日の過ごし方、心身状態等を職員間で把握できるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○ チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>「どのような生活を送りたいのか?」「どのようにすれば本人らしい生活がおくれるのか?」を職員各々が日々考え、利用者・家族の意向に沿った介護計画を作成している</p>	<p>2階3階ごとに、チームワークで、利用者一人ひとりの症状、発言に注意し、気持ちを汲み取るよう努力している</p>	
27		<p>○ 個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケア記録の中に気づき等記入し、カンファレンス時に計画の見直しを行うのに活用している</p>		
28		<p>○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>引越しの際、必要に応じて引越車を出し、利用者様や御家族様の負担を軽減できるような取り組みを行っている</p>		
29		<p>○ 地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>年1回、消防署より防火訓練の講習に来て頂き、利用者様が安心して暮らしていける環境作りに努めている</p>		
30	11	<p>○ かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の同意のもと、24時間体制で見てもらっている。</p>	<p>内科の先生は月2回、歯科は歯科衛生士が週1回、必要時に歯科医が来所して診療し、看護師は週1回の体制で診て頂いている</p>	
31		<p>○ 介護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>週に1回、看護師が来所し、利用者様の状況を報告し相談・助言を頂いている。また、異変が見られた際は、すぐに連絡を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ほぼ毎日面会に行き、利用者様の状態の把握に努め、迎え入れの準備を行っている。また病院の担当看護師に変化等ないか情報交換をおこなっている			
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームドクターを中心に、訪問看護師、ホームスタッフ、家族と繰り返し話し合い、その方に合った方針を考え支援している	医師、ご家族、職員とで症状の変化ごとに話し合っている。スタッフ間も情報交流を十分行っている		
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを掲示し、周知徹底している。また、消防署の方に来ていただき、救急救命講習を受講している			
35	13	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っている。また、運営推進会議の際、老人会長を中心に協力を得られるように働きかけを行っている	消防署と避難訓練を行っている	職員同士の避難訓練を、年2回体験しておいて欲しい	
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている	介助中は、第三者から見えないよう・聞こえないよう、本人様の自尊心を大切にケアを行っている	職員同士で十分配慮されている		
37		○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援 日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との信頼関係の構築に努め、利用者様の意向に沿う生活が送れるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	食事や起床時間、入浴、散歩は一人ひとりの時間や体調、気分に合わせて行っている		
		○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している	毎朝、整容に努めその気候にあった衣類を着ていただけるよう支援している。理容・美容は2ヶ月に1回業者が訪問し行い、本人の希望を聞きその都度対応している		
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ある程度利用者の希望も聞きながら個々でメニューの変更も行っている。準備・片付け等できることは一緒に行っている	高齢者向けのメニューが提供されており、体調に合わせた盛り付け等で、体調の管理をしている	
			○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		
42		○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、訪問歯科で指導頂いた方法で口腔ケアを行っている。自己にて出来ない方は介助させて頂いている		
		○ 排泄の自立支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し排泄の失敗を軽減出来るよう介助している		
44		○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は便秘の原因、影響について定期的に行う勉強会で学び、水分補給や適度な運動、腹部のマッサージなどを行い、便秘には注意している。毎朝牛乳を飲むようにしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望に添い入浴できるよう支援し、入浴を楽しんで頂けるよう入浴剤を使用し「変わり湯」を実施している	出来るだけ利用者の希望に応じるよう配慮している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活スタイルを大切に、昼寝をされたり自由にして頂いている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	薬について疑問があれば、医師や看護師、薬剤師に相談し変化があればすぐに報告を行い、支援を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	定期的に外出行事を行い、充実したホームでの生活が送れるように努めている。また、随時、散歩や買い物に行ける環境を整えている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩に出かけたり、本人が希望されるときは買い物等の外出支援を行っている	18名中4名の方が、散歩にあまり出たがらないため、別な運動や訓練を検討している	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	お金は買い物の際に本人に渡し、自分で支払うよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	年賀状の返信など、本人様に書いて頂けるよう支援している		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	日中はフロアが明るくなり過ぎないように自然光を取り入れ、落ち着いた雰囲気になるよう努めている。また、季節感のある花や掲示物などを飾るようにしている	共用室は南向きで明るく、南は金剛山の山並みが楽しめ、また石川の流れ、高速道路の通行車が眺められる。西の方向は河内平野を望める位置にある	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	キッチン横のスペース、エレベーター前のスペースにソファを設置し活用できるようにしている		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのもを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	入所時より本人様を使い慣れた家具・寝具を持参して頂き自宅に近い雰囲気作りに努めている	各自が、それぞれの家財道具類を持ち込み、自由に過ごしている	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室やトイレにはわかりやすいよう表札を掲示している		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ① 毎日ある <input type="radio"/> ② 数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③ たまにある <input type="radio"/> ④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くない
66	職員は生き生きと働いている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族が <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない